



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和8年7月発行 嘉手納町教育委員会



心の灯！「してもらって幸せ、できるようになる幸せ、してあげる幸せ」

掃除の神様・鍵山秀三郎さん（1933年～2025）という方が、人生には「3つの幸せ」があると言っている。1つ目は、「してもらって幸せ」である。人は赤ちゃんのときから、何かをしてもらって嬉しい。抱っこしてもらって最高。2つ目は、「できるようになる幸せ」である。自転車に乗れるようになる。鉄棒の逆上がりができるようになる。勉強がわかるようになる。できなかったことが「できるようになる幸せ」である。3つ目は、「してあげる幸せ」である。お母さんの手伝いをしてあげる。お父さんの肩をもんであげる。困っている友だちを助けてあげる。そうすると、両親、友だちが喜ぶ。人が喜ぶ姿、喜んだ顔を見たときに、自分も幸せになる。嘉手納の子どもたちには、誰かの笑顔のために、「してあげる」人になり、豊かな心を育ててほしいと願っています。（教育長）



第76回「社会を明るくする運動」出発式を開催！

本運動は、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、誰もが安心して暮らせる明るい地域社会を築くことを目的としています。7月は強調月間として、内閣総理大臣をはじめとする各方面からのメッセージ伝達や、学校での講話、ワークショップなど、地域全体で更生保護の輪を広げる活動を展開してまいります。安全で明るい未来のためには、皆さまで一人ひとりのご理解とご協力が欠かせません。地域のチカラで、犯罪や非行のない町を一緒に作っていきましょう。



大人が変われば子どもも変わる！「青少年育成者研修会」を開催

地域の子どもたちは地域全体で守り育てようと、7月6日に沖縄県産業支援センターで「青少年育成者研修会」が開催されました。今回のテーマは「青少年の非行問題について」です。那覇少年鑑別所の統括専門官である中川万幾子氏を講師に迎え、昨今問題となっている薬物使用や闇バイトといった匿名・流動型犯罪の背景について、事例を交えながら学びました。「大人が変われば子どもも変わる」の合言葉のもと、犯罪や非行に巻き込まれないための環境づくりや、子どもたちのサインに気づくための実践的な知識を深める貴重な機会となりました。



●少年鑑別所の現場などで明らかになっている「非行に走る子どもたちの共通の背景（課題）」

虐待や困窮による家庭の養育機能の低下、発達上の特性や不登校による学校での孤立、SNS（闇バイトやオーバードーズ）の普及による有害環境へのアクセスの容易さが複雑に絡み合っている。

グローバル人材の育成へ！海外短期留学派遣事業を実施

嘉手納町の次代を担う中高校生を対象とした「海外短期留学派遣事業」が、7月11日から31日までの期間、米国ワシントン州立大学（プルマン市）にて実施されました。今年度は約3週間の日程で現地の大学寮に滞在し、ESLプログラム（語学授業）や多様な課外活動に取り組みました。異なる文化や歴史に直接触れることで、異文化理解を深めるとともに、実践的な英語力の向上を図りました。参加した生徒の皆さんが、今回の貴重な経験を糧に、将来国際社会で活躍するグローバルな人材へと大きく成長してくれることが期待されます。※プルマン市は住民の9割が大学生の街。とても治安がいい！



●令和8年度夏休み海外短期留学プログラム派遣生

球陽中学校：2年 儀間 奈里 **球陽高等学校**：1年 普久原 周士 我那覇 雅 喜世川 はる
読谷高等学校：1年 幸地 陸寿 2年 多和田 瑠絢 古謝 くれあ **普天間高等学校**：1年 喜屋武 桜彩
コザ高等学校：2年 金城 優彩 宮里 ハンナ

英語で伝える力が輝く 第 28 回嘉手納町英語コンテスト

7月10日、中央公民館で第28回嘉手納町英語コンテストが開催されました。町内の小・中学校から選抜された小学生10名、中学生4名が出場し、身振り手振りを交えながら、堂々と英語で表現しました。一人ひとりの発表からは、この日に向けて積み重ねてきた努力が伝わり、会場は大きな感動に包まれました。また、年々向上する子どもたちの表現力と、各学校のALTをはじめとする先生方の熱心な指導の成果も感じられる大会となりました。野國總管賞には、小学時代も含め4度目の挑戦となった嘉手納中学校2年の與那覇美晴さんが輝きました。



＜小学生部門＞

金 賞：嘉手納小学校5年 崎山 シエル 美空 銀 賞：嘉手納小学校5年 池原 のどか
奨励賞：嘉手納小学校6年 山川 波夏 特別賞：屋 良小学校6年 花城 可知

＜中学生部門＞

野國總管賞：嘉手納中学校2年 與那覇 美晴 金 賞：嘉手納中学校3年 玉置 愛琉

郷土の民話を次世代へ！紙芝居「牛窃人洞」の贈呈式を開催

嘉手納の伝承を伝える民話チーム「かでな」の皆さんが7月14日に町役場を訪れ、新作の紙芝居「牛窃人洞（ウシヌスルガマ）」を贈呈しました。同グループによる紙芝居づくりは今回で6作目を数えます。全12場面のストーリーや絵の構成について画家とともに11回もの検討を重ね、丹念に作り上げました。当日は、町に伝わる牛泥棒にまつわるユーモラスで教訓的な民話の実演も行われました。地域の歴史や文化が詰まった力作を通じて、子どもたちや住民の皆さんが故郷の民話に親しむ素晴らしい機会となることが期待されます。



先生たちの ICT & 生成 AI スキルアップ！嘉手納町全教職員研修会を開催

7月27日、町内3校（嘉手納中・嘉手納小・屋良小）の教職員が一同に集まり、合同研修会を開催しました。今回は文部科学省の「生成AIパイロット校事業」の一環として、前回に引き続き田中善将氏を講師にお招きしました。午前の部は、Google 認定資格の取得を目指す講座やリーダー向けのコア研修に分かれて熱心にスキルアップに取り組みました。午後の全体研修では、これからの授業づくりや生成AIの教育活用について専門的な助言をいただき、指導力向上に向けた充実した一日となりました。嘉手納町では、子どもたちの未来のために教職員も日々学びを深めています。



嘉手納の誇りを胸に！九州・全国大会へ挑む生徒たちを表敬訪問

7月30日、県大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会への出場を決めた嘉手納中学校の剣道部、空手部、柔道部の選手たちが、教育長を訪れました。選手代表からは「これまでの努力を糧に、全力で戦いたい」「まずは一勝を目指す」と力強い決意が語られました。教育長からは、厳しい練習を乗り越えた努力を称えとともに、「気負わず、仲間を信じて最高の経験を楽しんでほしい」と温かい激励の言葉が贈られました。町民の皆様の熱い応援をよろしくお願いいたします。



未来を担う子どもたちのために！大興建設様より温かなご寄附をいただきました

7月15日、町役場応接室にて大興建設様による寄附金贈呈式が行われました。「未来を担う子どもたちの人材育成に役立ててほしい」との思いから、嘉手納町人材育成会へ100万円が寄附されました。「耕す土地がなければ、頭を耕せ！」という町の教育理念に共感いただいたものです。出席した町長は、日頃のまちづくりへの貢献とともに、温かい浄財に深く感謝を述べました。いただいた寄附金は、学資支援や海外短期留学、児童生徒の活躍を支える事業に有効に活用させていただきます。



嘉手納の新しい顔が決定！ご当地ヒーローの名前は「KADENA 伝説ムルチ」

嘉手納町の環境問題や歴史を伝える新しいご当地ヒーローの名前が、「KADENA 伝説ムルチ」に決定しました！町商工会青年部が企画した名前の募集にはたくさんのご応募があり、厳選された3候補による投票の結果、1位の「ムルチ（196票）」に決まりました（2位「カディナ」193票、3位は「カデナマン」78票）。子どもたちが楽しみながら町の魅力を学べるヒーローとして、来年の野国総管まつりでのデビューに向け、これから町の様々な場面で活躍していきます。どうぞお楽しみに！



夏休みはかでな未来館へ！沖縄県鉄道シミュレーション体験を開催

休み期間中のかでな未来館にて、「沖縄県鉄道シミュレーション体験」が開催されています。期間は8月21日までです。昭和の沖縄の街並みや鉄道の旅を、シミュレーターで手軽に体験できる人気の企画です。収録区間は那覇-古波蔵間と大里-与那原間の4コースで、レバー一つで簡単に操作できます（約5分間）。受付時にコインが渡され、歴史民俗資料館の入場料（小中高生や同伴者は無料）で楽しめます。ぜひご家族やお友達と足を運び、懐かしい鉄道の旅を体験してみませんか。



（写真）ケービン鉄道シュミレーター

